

名古屋丸の内ロータリークラブ Nagoya Marunouchi Rotary Club Weekly Report	2024-25年度 R.I.テーマ 会長：ステファニーA. アーチック	承認 1995.03.28 会長 加藤 豊 幹事 田中 如似 事務局 名古屋クレストンホテル 1007号 名古屋市中区栄 3-29-1
	 Rotary Club of Nagoya Marunouchi	TEL 052-263-1324 FAX 052-263-0730 E-mail seinan1@fancy.ocn.ne.jp
例会会場：名古屋クレストンホテル (TEL : 052-264-8000) 例会曜日：木曜日 12時30分 クラブ会報広報委員長：岩田 宏 HP : http://nagoya-marunouchi-rc.org/		
加藤 豊 会長 年度目標：30周年を祝おう！ そして新しい時代を迎えるための楽しい体験を積もう！		

第1260回 例会 No. 1 令和6年 7月4日 (木)	
■ロータリーソング 「君が代」「奉仕の理想」	
■出席報告 会員46名中23名出席	
■出席率 54.76% 出席計算人数42名	
■ゲスト 米山奨学生 キム ジ ウオンさん	

会長挨拶 **加藤 豊**

ついに始まってしまいました。2024年-25年度です。ご挨拶の前にまず、今年度が始まるにあたって、幹事の田中さん、親睦活動の小野さん、佐久間さん、30周年記念式典実行委員長の田島さん、IM実行委員長の長谷川さん、そのほか各委員会の委員長のみなさんを含め、本当にたくさんの方からのご支援を賜りました。この場をお借りして御礼申し上げたいと思います。さて、今日は年度初回の例会となり、木下昌俊さんの入会式をはじめ、行事が盛りだくさんですので、できるだけサクサクと進行していきたいと考えております。そのあと、私から年度方針、田中幹事から補助金事業の説明などさせていただきます。本日もなにとぞよろしくお願いいたします。



入会式



【ご挨拶】 木下 昌俊
 皆さんこんにちは。まだ入ったばかりで、何もよくわかっていないですが、先輩方の教えを、この先たくさん学んでいけたらと思います。夜もたくさん誘ってください。よろしくお願いいたします。

新会員紹介	
氏名	木下 昌俊
紹介者	松尾雄二郎 今村 昌根
職業分類	建築設計
生年月日	1979年 8月 8日
趣味	お酒
事業所	オオトリ建設(株) 代表取締役社長 454-0953 名古屋市中川区富田町 榎津市部田 485-1 TEL052-355-6561 FAX052-355-6562



ニコBOX

- 新年度が始まりました！！皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。本日は会長・幹事より、年度方針についてお話しさせていただきます。**田中幹事、藤田、恵利、後藤、松尾、八木、森田、小野、堀江亮介、安江、成田、今村、黒田、磯部、山崎彰子、岩田、河原、西川、堀江俊通、高坂(敬称略)**
 - 会長就任祝い **加藤さん**
新年度が始まりました。よろしくお願いいたします。**田島さん** 加藤会長、おめでとうございます。**木下昌俊さん** 本日入会します。よろしくお願いいたします。
 - 理事役員就任祝い **後藤さん**以下 11名
 - 委員長就任祝い **岩田さん、今村さん**
- 本日合計 118,000 円**

7月の祝福

誕生日		結婚記念日
3日	石井 光さん	
7日	佐久間静憲さん	
13日	長谷川龍伸さん	
16日	山崎彰子さん 有沢祥子さん	

次回の例会予定

- 7月11日 (木) 例会変更「30周年オープニング夜間例会」
- 7月18日 (木) 休会

直前会長幹事章贈呈

直前会長 松尾雄二郎さんと、直前幹事 今村昌根さんに会長よりそれぞれ、会長幹事章を贈呈いたしました。一年間ありがとうございました。

幹事報告とご挨拶

田中 如以

皆さん、こんにちは。幹事報告をさせていただき前に、一言だけご挨拶をさせていただきたいと思っております。今年度私が心がけていることは、皆さん喜んでいただける例会、一緒に感動して一緒に経験を、その思いを共有したいと思っています。例会ごとに楽しいとか、嬉しかったとか、よかったとか感動したとか、なるほどとか、そんな気持ちを毎回皆さんに持ち帰っていただけたらと思います。どうか1年間よろしくお願いいたします。



それではまず今日の理事会報告からさせていただきます。早くも次年度の話ですが、会長エレクトの推薦委員というのをもう少し先に決めまして、9月に次年度の会長エレクトを選出したいと思っております。それからこれも次年度の話なんですが、青少年交換学生、昨年リネアちゃんのホームステイ先として受け入れてくださった高橋さんのお嬢さんが、青少年交換学生を希望していらっしゃいます。この8月に募集要項応募されるそうです。それで決まりましたら私どものクラブでも交換学生を受け入れるということになりますので、どうぞそのつもりでよろしくお願いいたします。もしホームステイ先ということで学生さんを受けてもいいよとおっしゃる方がいらっしゃいましたら、早めに恵利さんまでお申し付けください。

立石ゆかりさん6月30日付けで退会されましたのでご報告させていただきます。

地区補助金事業についてですが、「いのちの事業」というのを行います。これは対象を小学生にこれから募集を行います。その募集先はこの名古屋市中区の子供会ということでご承認いただきました。よろしくお願いいたします。

8月1日にローターアクトの支援金を贈呈することになっておりますが今年度支援金が若干減額に、10万円を支援させていただきます。そして名古屋丸の内ロータリークラブのホームページ、皆様ご覧になっていらっしゃいますでしょうか。このホームページについて、パスワードを一部解除したらどうという話も出ております。もしこういう部分は外部の人に見られてはいけないとか、こういうところは公開してもいいのではないかというご意見がありましたら、私のところまでお申し付けくださいませ。

ダイナースカードというのをロータリー財団が推奨しております。今までいろいろありまして作るというには至りませんでした。が、昨年度の予算が足りないというような現状も出てきました。また、振り込み手数料も年々上がっていきまして、そういった部分を少しでも一助になればと思ひまして今回作成させていただきます。ご了承ください。

来週7月11日木曜日は夜間例会になります。30周年オープニングということで、ザ コンダーハウスというところで行います。みなさんでゆっくりお食事をしようと思ひま

たが、磯部さんの奥様、村上 侑美枝さんがマナーの先生ということで、せっかくですので、こういった機会に村上先生にお越しいただきまして、ちょっとしたワンポイントレッスンのような感じで楽しみたいと思っております。皆さんぜひ参加していただいて、30周年にたくさんのお客様もいらっしゃる中、この丸の内ロータリークラブのメンバーがとても素敵なおもてなしができるというふうを考えています。7月18日は休会して7月25日、外部卓話は名古屋北ロータリークラブの近藤久詞さんにお越しいただき、服飾文化と西洋紙というタイトルでお話しいただきます。この方は私の友人でございますけれども、とても博学でいろんな知識をお持ちです。また日本語、英語、イタリア語と3カ国語をお使いになり、1年に本当に数回ですけれども、お食事に行っても時間が経つのを忘れるほど楽しいお話をしてくれる方ですので、きっとこの短い30分の時間ですがいいお話をいただければいいかなと思ひて期待しております。ぜひこちらの方も出席よろしくお願ひいたします。

それから補助金事業について簡単にご紹介させていただきます。以前、豊田市で女性ハンターとして活躍されている清水純子さんに卓話でお越しいただいたことがあります。そこで知ったこととして、農作物を荒らす害虫として駆除されたシカやイノシシ、鳥などの動物たち9割以上が廃棄されているという現状でした。そんな動物たちを通して、子供たちに命の大切さを学んでいただくという企画です。具体的にはシカの解体見学を体験し、ジビエのバーベキューをいただき、命の尊さ、食の大切さを体験を通して知っていただきたい。そしてフィールドワークを行い自然を感じることで、動物との共生、そして環境を考えていきたいという趣旨で日程は、9月23日月曜日、9月28日土曜日という、それぞれ単独の日帰りバス旅行です。会員の皆様にご協力をしていただきたいと思ひまして、早めにお知らせいたしました。小学校高学年のお子さんを1回25名程度募集しております。場所は豊田市北小田町の北小田の家という自然の中の古民家なんですけれども、ここで命の授業を行います。古民家というのは、皆様もよくご存知だと思いますが、危険箇所が大変多いです。また田舎も危険なところがあって、都会でしたら当然柵のある部分もこういった田舎ではありません。ですので見守りとしてできればお手伝いとして参加していただきたいと思ひます。補助金事業は、ロータリアンが汗水を流して活動するという事業でございます。申し訳ありませんがバーベキューとかは召し上がっていただくことはできませんので手弁当ですけれども、こちらでお弁当などを用意して皆様に手ぶらでお金だけ出していただいて、来ていただけるようにしたいと思ひますので、ぜひこちらの方もどちらか1日でもいいのでご出席をよろしくお願ひいたします。また後日といいますか、日にちが近くなってまいりましたら皆様いろいろお知らせしたいと思ひしております。報告は以上です。

米山奨学金贈呈

米山奨学金7月分を、加藤会長よりキム ジ ウオンさんにお渡ししました。

【ご挨拶】 米山奨学生 キム ジ ウオン

こんにちは、米山奨学生の金正恩と申します。ロータリーの米山奨学生になって3ヶ月が経ちました。私の近況をお伝えします。まずは日本への就職を考えているので、日本企業を

経験したいと思っています。そのためにいくつかの企業のインターンシップに応募しています。まだ完全に決まっていますが、海外滞在経験と英語力を生かして、日本と世界、世界を繋ぐ役割を担いたいと考えています。そのため、海外企業等の共同研究ができる研究職を探したり、海外で日本の製品を紹介する海外営業職を考えたりしています。就職活動以外にも、6月にはアジア・オセアニア国際光合成学会という国際学会に参加することになりました。今回は日本の神戸で行う予定らしいです。この学会と就職活動を並行しているので、1日の24時間がすごく短く感じてしまうんですが、どちらも学生時代にしかできない大切な経験なので、良い結果を出すために精一杯頑張ろうとしています。最後に毎月奨学金を支援してくださる丸の内クラブの皆様へ感謝のお礼を伝えます。



クラブフォーラム 年度方針と活動計画

会長 加藤 豊

今年度の名古屋丸の内ロータリークラブの年度方針と活動方針についてお話をさせていただきます。今年度の国際ロータリーテーマは「The Magic of Total」

2760地区の方針は、「魅力ある例会持続可能な奉仕活動、成長するロータリー」となっております。

世はまさにアフター関連パンデミックということで、コロナ以前の活気を取り戻そうといたしております。そのような中で今回、私どもロータリークラブの目標を「30周年を祝おうと、そして新しい時代を迎えるための楽しい体験を積みよう」とさせていただきます。こちらのスライドの絵は、私がパソコンを使って5分ほどで作成したものになります。私のように普段絵を描かない人間でもこんな絵を描こうと思ったら、ほんの数年前でしたら、アニメーターに依頼して、最低でも何万円もの予算を使って、何日もの時間をかけないと作れなかったと思います。

この辺が何を意味しているかというと、今、私どもが歴史上稀に見る生産性向上の世界に身を置いているということです。絵を描くことだけではありません。例えば病気の治療に関しても、これまでは新しい薬を作るのに膨大な人手と年数を要しました。しかし、今回我々が経験したこの中では、設計から承認までわずか7ヶ月という恐るべき短時間でワクチンが生産され、95%という高い予防効果で人類を救いました。

このような事例は数え上げるほど切り数え上げるときりがありませんが、既に私達はAI革命の真っ只中にいます。さて、このような世の中になって、私達はどのように振る舞

ばよろしいのでしょうか？日本は今、GDPがほとんど増えない低成長の中にあります。少子高齢化と人口減少が低成長をもたらしているというご意見も多いと思いますが、私はそれだけではなく、日本人の消費意欲が減退してきているのも大きな要因だと考えております。

例えば、私が若い頃、娯楽といえば、何百万円もお金を払って新しい車を購入し、彼女とドライブに出かけることでした。今は15万円で購入したパソコンで、このようにいくらでもかわいい女の子を作り出すことができます。



なんでしたら彼女を3Dプリンターで印刷し、ChatGPTを装着して、彼女と気の利いた会話を楽しむこともできるでしょう。

私達の住んでいる日本はこれから産業革命以来の物消費中心の世の中から、事消費中心の世の中世に移り変わ

っていくのではないかと私は考えております。

それであるならば、私達は消費より経験に重きを置き、より楽しく、よりためになり、より心に残る体験を積み重ねるべきではないでしょうか？このような考えから、私どもクラブの活動方針を

1. 30周年を祝い、心に残る行事を企画し出席者を増やしましょう。
2. ロータリー活動を通して、新しい時代に合った新しい体験を積みましょう。
3. ロータリー活動で得た、楽しい体験を周りに伝え、新しい会員の獲得に繋げましょう。

の三つとさせていただきます。さて、具体的な行事予定ですが、皆さんクラブ計画書を手にとっていただいて31ページをご覧ください。

私の活動方針に従って、今年度は幹事の田中さんや親睦委員の小野さんが特にいろいろ行事を盛り込んでくれました。主な行事を挙げさせていただきますと、7月11日、30周年オープニング記念として、ザコンダーハウスで夜間例会を行います。8月24日は親睦旅行家族例会を行います。

私は今年度30周年記念企画として、カナダのカルガリーで行われる国際ロータリー会議に出席しようと提案したのですが、国際ロータリーなんてつまらないというご意見をいただきました。それではこの時期、気候の良い韓国旅行にしようとしたのですが、子供も気軽に参加できる企画の方が良いというご意見をいただきました。信州松川温泉すも狩りの日帰り旅行に行くことにしました。

9月10日は大名古屋ビルヂング3階にある、世界のビール博物館で納涼例会を行います。あと年間予定表には記載されておりませんが、9月23日と28日、先ほど田中幹事からご報告いただいた通り、「いのちの授業」という補助金事業を行います。10月の秋の家族例会は例年御園座でしたが、今年度は愛知県芸術劇場でクラシックの鑑賞となります。

10月10日はガバナー補佐訪問でガバナー補佐の藤田さんが、当クラブを訪問されます。10月25日のガバナー公式訪問がマリOTTアソシアでございます。

11月28日、メイクアウィッシュ支援のチャリティー夜間例会がクレストンホテルで開催されます。12月のクリスマス例

会ですが、今年は少しタイミングが早くなって、12月14日に開催します。ご家族の方、来賓の方をお招きして、今年も盛大に祝いたいと思いますので、皆さんもぜひ予定を空けておいてください。

1月の職場見学は安川電機のロボットセンターを訪問いたします。2月20日は当クラブ主催のインターシティミーティングが観光ホテルであります。ガバナー補佐の藤田さんから、例年に比べ出席者を絞り、着座にて、フードロスなどができるだけ避けた形で開催したいというご希望をいただいております。

3月13日は30周年記念式典をクレストンホテルで開催致します。西名古屋分区の会長幹事ほか岡山丸の内ロータリークラブの皆さん、名古屋みなとロータリークラブの皆さんもお招きいたします。家族の方も参加できますので、奮ってご参加ください。

なお、IMは長谷川さんを初め、恵利さん、武山さん、藤田さん、30周年記念行事は田島さんを始め、今村さん、小野さん、堀江亮介さんに実行委員をお願いしております。担当の皆さんには大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒よろしくお願いいたします。この1年間の予定は以上となります。皆さん例年以上のご参加をお願いいたします。

蛇足になりますが、簡単に自己紹介をさせていただきたいと思っております。

私は昭和36年生まれの63歳です。職業は医療介護になります。名古屋千種区今池で吹けば飛ぶような小さな病院をやっております。介護施設も何軒かやっております。モットーは「当たって砕ける」ということでありまして、私が2歳のときに、ちょうど母親と一緒に寝ておりましたら、私がいきなりすっくと立ち上がって、「自分は神風特攻隊の隊員である」と自己紹介をしたそうです。以後私のモットーは「当たって砕ける」ということで、砕けるではありません。砕けるの方なので、皆さん巻き込まれないように気をつけてください。趣味は、アニメとか60歳過ぎてから始めたゴルフ、あと旅行とか株式投資、昔やっていた研究の追っかけなんというものもやっています。

旅行ですが、海外旅行とか疲れるのもうだんだん行かなくなりました。最近は国内旅行に行っています。

あと趣味が株式投資でして、僕が入会したときにこの丸の内ロータリークラブに証券会社の方がいらっしやいまして、そこで口座を作って株式運用を本格的に始めました。

そのとき1億円預けたんですけども、とにかく手数料が高いんです。もうどんだけ売買しても手元に残らない。ある時頭にきて、1億円が1億3000万円になったときに、3000万円抜いてSBI証券で口座を開きました。今その口座が3000万円から今1億2000万円ほどになっておりますけども、同時期に残してきた証券会社口座では、1億円は1億7000万円しかなくてないので、やっぱり手数料の高い証券会社は駄目ですね。本当に駄目なんで皆さん気をつけてください。

それから、昔やっていた研究の追っかけみたいなことをやっています。大学に行ったときにERKという、これ細胞の中にある酵素なんですけども、こういうものの研究を僕たちはアークと呼んでいまして、これERK5という分子なんですけども、私の専門はこのERKというタンパク質になります。この頃やっていた研究成果っていうのは、Natureという雑誌に発表しましたけど、そのときに発表したデータですが、子宮がんの細

胞のこの中にあるERK5を潰してやると、これ実験的に潰すってことできるんです。どうやって潰すかっていうと、がん細胞があって、そのがん細胞にウイルスを感染させます。

そのウイルスの中に、このアーク5を駄目にする成分を入れておいて、ウイルスに感染するという、そういった手法を使って、このアークっていう成分をつぶしてやるわけですね。そうすると、がん細胞の分裂が止まり、細胞分裂が停止するというそういった論文を書きました。

結構これはインパクトのあるデータでして、というのは、この1998年当時、がんの治療というのは、がん細胞を殺すということに特化したわけなんですけども、私の場合は、そういう殺すことだけががん治療じゃない。がん細胞の分裂を止める、分裂のスピードをゆっくりにするということもがんの治療なんだよということで、新しい概念を提唱したわけなんです。

こういうインパクトのあるデータを提唱すると、大概再検証する人が世の中に出てきて、これが再現できないと小保方さんみたいなことになってしまうわけなんですけども、幸い私のデータは再現することができて、今はこの実験を再構成したものがYouTubeで動画になって出ています。この人は僕と違って肝細胞がんのがん細胞を使ってますけども、さっき私が言いましたERK5を潰してやると、がん細胞の中で分裂していないがん細胞、これはG0G1といいますが、細胞分裂していないがん細胞の数が増えてくるということ報告しています。

僕はこういう現象があるということだけ報告したんですけども、その後の研究者の人がいろいろ研究をして、もうどういうメカニズムでそういうことが起こっているのかということが明らかになっています。この人の場合は、P27っていう細胞分裂を止めるようなタンパク質が細胞の中で増えてくるので、細胞分裂が止まるんだということを明らかにしています。またこの人は、このがん細胞をネズミに移植するんですね。ネズミの中で大きくなります。一方で、このアーク5というのを潰したがん細胞をネズミに移植すると、ネズミの中でがん細胞が増えてこない、大きくなれないということ報告しています。さらに、このがん細胞をネズミに移植して、移植したネズミに、このERK5と活性を抑えるような抗がん剤を服用させてやる。そうすると、ネズミの中でがん細胞が大きくなれないということ報告しています。

ということでこんちでは、私が昔提唱したERK5ががん細胞の増殖に必要な酵素であるという、そういう結果が今動画になってこうやって出てきている。私の仮説が動画になっているのを見て、ちょっと感動しています。

自分の端っこをかじった研究をいろんな人が研究してくれて、今後多分こういうネズミの実験で成功したものが今度は人間で成功しないといけない。そういう治験を行い、治験が成功するとこれが抗がん剤として製品化されます。

ですので、できれば抗がん剤が製品化されるところまでは追いかけていきたいなというこんなふうに考えております。

ということで皆さんいろいろご面倒をおかけしますがこの1年間何卒よろしくお願ひいたします。私の方からは以上です。

財団寄付表彰、第1回理事会議事録は次号に掲載いたします。ご了承ください。

※理事会議事録の内容は幹事報告で述べられています。